

平成 20 年度第 1 回四万十町地域公共交通会議 議事録

日 時：平成 20 年 9 月 17 日（水） 14：00～16：00

場 所：農村環境改善センター（2F）大会議室

出席者：別紙のとおり

1 開会あいさつ（会長）

会長の高瀬副町長による挨拶の後、出席者全員による自己紹介が行われた。

2 議 題

（１） この会議の目的とスケジュール等の確認について

企画課が資料 1 に基づき説明を行い、意見を求めた。

【意見】

なし

（２） 各事業所等の課題について

企画課が資料 2 に基づき説明を行い、意見を求めた。

【意見】

（バス事業者）

- ・ バス会社の統合は行政からの話がないと難しい。
→ 2 つとも民間のバス会社なので、行政からではなく会社から動くべきではないか。
- ・ 今回の取組は、まちの施策にも関わってくるものだと考えている。当社（高南）では、観光部門の収益を、路線バスの赤字補填にあてており、会社の収益を上げるには観光部門の収益を上げないといけない。町は、観光振興をどう考えているのか。そんな検討も願いたい。

（タクシー事業者）

- ・ 昔から比べると売り上げが大きく減少している。昔は、3～4 年に 1 回車両を買換えしていたが、現在は 6 年に 1 回程度にしている。
- ・ 診療所バスが走り出してから売り上げが下がった。町は、診療所バスを運行し、路線バスにも補助をしているが、そういった二重の支出はやめてほしい。診療所バスをやめて、路線バス利用者にキップを配布するなどにしてはどうか。
- ・ 障害者の 1 割引分は、タクシー会社の負担になっている。
- ・ タクシー料金が安いというアンケート結果（総合振興計画）には耳が痛い。しかし、タクシー会社は特別な業者。乗りたいお客さんがいればすぐに行かなければいけないし、高齢者には荷物の積み下ろしの手伝いをするなど、きめ細かいサービスを行っている。また、夜中に医療センターに走るといったことも年間何度かあり、色んなニーズに答える必要がある。この話がどんどん進んでいったらどうなるか懸念するが、業者にとっても、住民にとっても、いい方向になればいいと思う。

(病院)

- ・ 患者さんのニーズに少しでも近づけるために輸送を行っているが、経費的には大変。
- ・ くぼかわ病院は、年間 4,000 万円くらいの経費がかかっている。

(社協)

- ・ NPO で福祉有償輸送に取り組もうとしたが、運営協議会を設置しないといけなためできていない。他の市町村でもそのことが課題となっている。
- ・ 今回、バス停までの足を確保するような取組に向けた協議をしたい。学校統合をしたらスクールバスを走らすようになるだろうが、学校給食運搬やタクシー事業所と、点と点を繋ぐような話し合いをしていけば、方向性が見えてくるのではないだろうか。
- ・ 業者さんも大変だろうが、エゴを言っていたら話が進まない。利用するのは住民であり、利用者の利便性を考えていかなければならない。

(農協)

- ・ 十和おかみさん市はこれから JA が主体となって取り組んでいくようになっているが、集荷事業等は赤字である。また、移動スーパーの要望などもある。
- ・ 志和のシシトウの集荷は、以前やってくれていた人がやめて、現在は職員が行っており、新たな集荷システムが必要になっている。
- ・ 窪川のみどり市には、近所の人が集めあって運んでいるところもあるが、野菜は作れても運べない人がちょくちょく出てきている。
今は何とかなっているが、10 年後にどうなるか不安である。

(住民代表)

- ・ 公共交通の利用の減少は、お酒を飲む機会が減ったことも影響している。
- ・ 町も、乗らないバスに補助をするよりも、タクシーのチケットへ補助をした方が効率的ではないか。
- ・ 現在、大正地域の人は、買い物や病院などで多くの人が窪川に行っているが、バス会社が 2 つあり、北ノ川で乗り継がなければいけない。大正ー窪川間の直通バスは運行できないか。
- ・ 振動病の関係で大正診療所に通っている人が多いが、その人たちがバスを利用することを考えてはどうか。
- ・ 私は、車に乗らないため JR やタクシーといった公共交通を利用しているが、JR の時間が合わない時などは一本化したバスが欲しい。また、県外から帰ってくる町出身者から「四万十川沿いを観光しながら（列車よりもより川に近い場所を通りながら）帰りたい」という声を聞く。
- ・ バスはもう少し小型化すればいいと思う。

(近藤専門官)

- ・ 北ノ川の乗り継ぎについては、両者の調整が付いたら手続きの相談は受ける。

(藤塚准教授)

- ・ 非常に広い町内を、線で結ぶのは難しいと感じている。
- ・ 次回でいいので、以下の点を教えてほしい。
 - ① 北幡観光のバスと列車のアクセスはどうなっているのか
 - ② 高南観光と北幡観光は、北ノ川のところをダイヤで連携できないのか
 - ③ バス事業者はタクシー事業者と連携できないのか

- ・ また、企画課には、次の会で診療所バスとスクールバスの路線図を図面に落として示してほしい。

(3) バス路線の一部変更について

企画課が資料3に基づき説明を行い、意見を求めた。

【意見】

なし

3 その他

次の会議は10月中旬頃に開催の予定。

開催日が近づいたら案内文書を送送する。

第 1 回四万十町地域公共交通会議 出席者名簿

■ 委員

組 織 名		氏 名	出欠確認	備 考
道路運送法 9 条で定める必要のある委員	四万十町	副町長 高瀬 満伸	○	
	高知運輸支局	首席運輸企画専門官 一宮 軌善	○	代理：近藤
	(有)高南観光自動車	代表取締役 生田 則明	○	
	(有)北幡観光自動車	代表取締役 津野 常信	○	補佐：友永
	(有)窪川ハイヤー	山崎 健一	○	代理：宮谷
	新生タクシー	佐竹 憲雄	○	
	丸三ハイヤー（本社）	三浦 ひろみ	○	
	十和ハイヤー（十川）	芝 恒雄	○	
	住民または旅客（窪川）	富岡地区 榎本 利一	×	
	住民または旅客（大正）	下津井地区 下本 治男	○	
	住民または旅客（十和）	大井川地区 谷崎 直子	○	
	くぼかわ病院	事務長補佐 芝 司	○	代理：岡村
大西病院		事務部長 藤原 満子	○	
田辺医院		医院長 田辺 博之	×	
高橋内科・呼吸器科・消化器科		高橋 美華	○	
高知大学		准教授 藤塚 吉浩	○	
しまんと町社会福祉協議会		副会長 八木 雅昭	○	
四万十農業協同組合		営農推進課長 国廣 純一	○	代理：横山
高知はた農業協同組合		支所長代理 藤本 憲一	○	
合 計			17 名	補佐 1 名

■ その他

- ・ 高知県地域支援企画員（公文、夕部）
- ・ 四万十町企画課（武内、敷地、細川、富田）
- ・ 四万十町健康福祉課（岡）
- ・ くろしお地域研究所（吉田）

出席者合計：26 名